

## つちだりポート

### 大久保・古田両投手好投するも二つのミスで東京都第一代表の座を逃す

6回まで大久保投手の好投で明治安田のペースで試合は進んでいた。

6回までに加藤選手のタイムリー、本田選手の足で稼いだ内野安打で2対0で明治安田生命リード。7回1死後、四球・ヒットで1死2・1塁のピンチも1番バッターをショートゴローに打ち取りダブルプレーかと思いきや、セカンドがボールを握り損ない1塁に悪送球で2死3・1塁。さらに二塁にスチールされ2死3・2の大ピンチ。2番打者にショート内野安打され1点返され2対1。

9回の土壇場でこの回の先頭打者にセンターヘライナー性の打球をセンターが捕球すべく前進するも捕球できず、ボールは転々と外野を抜け無死3塁（記録は3塁打）となり次打者のセンターフライが同点の犠打となった。

10回1番宮川選手ファストエラー出塁、2番井村選手しっかり送りバンド1死2塁のサヨナラのチャンスも3番荒川選手力んで三振。4番加藤選手は敬遠気味の四球、2死2・1塁のチャンスに期待の増野選手もショートゴローでサヨナラのチャンスを潰す。ここでの「一発」が肝心。

11回先頭打者にレフト前に運ばれ、次打者にレフトスタンドに2ランホームランを打たれ勝負がついた。2対4の逆転負けで東京ガスに都市対抗野球東京都第一代表の座を奪われた。誠に残念至極。

試合が終わって瞬間虚脱感が身体全体に。それは私事で誠に恐縮だが自宅を出るときから気分がいらついた気持で心に余裕がなく、心で選手諸君に謝りながらグラウンドに到着(携帯電話・スコアブックを自宅に忘れた)

選手諸君は精一杯プレーでグラウンドを盛り上げてくれた。8回表に小生持参したテープを周囲に配り、早とちりを犯してしまった。「急いては事を仕損じる」われながら面目も無くただただ恥じるだけである。

選手は精一杯プレーをしている。誰にも失敗はある。次回失敗を種に好プレーに結び付けてほしい。1回セカンドゴローをファンブルしたが、2塁走者を本塁で刺殺する素晴らしいプレーがあった。

本大会は素晴らしい試合展開を繰り広げどのチームも紙一重の接戦。明治安田生命も強豪NTT東日本戦で延長18回を竹内和宏選手のサヨナラホームランで勝利。準決勝の鷺宮製作所戦も代打大野選手が9回裏奇跡のサヨナラ二塁打で勝利した。

ガンバレ明治安田生命硬式野球部の諸君、第二代表戦を集中力を高め1点の重みを胸にして戦ってください。

2015年6月2日

土田 唯雄



いよいよ試合開始



先発 好投大久保投手



加藤選手先制タイムリーヒット



本田選手内野安打で追加点



リリーフ 古田投手 好投



フレーフレー明治安田